

「四国職業能力開発大学校」を訪ねて

大阪障害者職業能力開発校 真崎 佳代

九州ポリテクカレッジ
(九州職業能力開発大学校) 京牟禮 実

1. はじめに

今回訪問した施設は、香川県の丸亀市に位置する四国職業能力開発大学校です。丸亀市は、香川県の海岸線側ほぼ中央部に位置し、人口8万人の丸亀城の城下町として400年の歴史をもつ町です。特産品は讃岐うどんが有名ですが、そのほかに、江戸時代より藩士の内職として奨励された「うちわ」は、全国シェアの約90%を占めています。

2. 四国職業能力開発大学校の概要

四国職業能力開発大学校の前身である香川職業訓練短期大学校は昭和56年に開校し、平成12年に応用課程が新設され、現在の4年制の四国職業能力開発大学校に改称されています。専門課程は、生産技術科、電子技術科、情報技術科、住居環境科の4科で、応用課程は、生産機械システム技術科、生産電子システム技術科、生産情報システム技術科の3科で構成されています。

3. 見学内容

四国職業能力開発大学校到着後、よんでんメディアワークスと共同開発しているインターネットを利用したe-Learning教材である「次世代ストリーミング型遠隔教材作成ソフト」の概要説明を、開発者の中心者である藤田紀勝講師（専門課程 情報技術科）



写真1 四国職業能力開発大学校の全景



写真2 次世代ストリーミング型遠隔教材作成ソフトの概要説明

より受けました。これは、講義を撮影したビデオとプレゼンテーションソフト「パワーポイント」の画面とを自動的に一体化してくれる優れたソフトで、将来よんでんメディアワークスで販売予定だそうで、現在、無料版が四国職業能力開発大学校のホームページで公開されています。

(<http://www.ehdo.go.jp/kagawa/college/welcome.html>)

この企業との取り組みの経緯は、2002年に卒業製作課題で取り組み、そのソフトを持参して評価してもらい、現在の共同開発に至ったと藤田紀勝講師より熱く説明を受けました。企業との連携強化が叫ば

れる折り、今後のヒントになる好事例だと思います。

3.1 ホームページ内容の充実

四国職業能力開発大学のホームページには、一般の能力開発施設のホームページと比べて、共同開発の事例や、図書館蔵書システムや卒業生・在校生の活躍事例などが記載されていることが特徴的です。

共同開発の事例として、高品質の冷凍保存を追究した「食品急速冷凍装置の開発」や遠距離地に動画を低価格で実現できる「ISDNを用いた動画配信システムの構築」などが記載され、積極的な展開は参考になりました。

また、図書館の蔵書検索もホームページ上で可能で、休館日のカレンダーも記載されており、能力開発施設では珍しく開かれた図書館を実現されています。

3.2 校内施設の見学

四国職業能力開発大学の概要説明を受けた後に校内施設を見学させていただきました。紙面の都合上印象的な点だけを紹介いたします。

図書館は、写真3のように広く整然として快適な環境で、ホームページによる蔵書検索システムと同様に一般に開かれた図書館と感じました。

また、応用課程の生産電子システム技術科の授業は、できた製品の作動時の電磁波を測定し、製品の使用時の環境に対する影響まで確認していました。今後の生産活動すべてにおいて、機能、コスト以外に環境面も考えなければならず、このような環境に対する内容を実習に盛り込んでいることに感心させられました。

最後に見学した応用課程の実習場の特徴は、写真4のように整理整頓がいきとどき、その機械実習場内に機械・電子・情報の合同の会議室のようにブースで区切られた部屋がいくつもあります。その部屋で開発課題ごとの学生が打ち合わせ、製作を進めていました。この状況は、企業の実際の実験会議、製作状況と間違えられるような良い環境でした。



写真3 整然と整備された図書館



写真4 応用課程の実習場

4. おわりに

能力開発施設は現在、地域に貢献することが求められ、地域企業との連携強化が尚一層要求されています。今回訪問した四国職業能力開発大学は、人口8万人の丸亀市に位置し、企業との連携を図るには不利な環境にもかかわらず、自ら情報を発信し、積極的な行動が実績につながっていることが大変参考になり、今後の広報の展開方法の好事例になると思いました。

【謝辞】

お忙しいなか、長時間にわたり施設のご紹介をいただいた四国職業能力開発大学情報技術科講師藤田紀勝様、同電子技術科講師中尾亀参継様、その他職員の方々に深く感謝いたします。